



大村市立福重小学校 学校だより

令和3年9月21日(火)

あさひ

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

10月15日(金)は、大雨時の引き渡し訓練を行います。

9月1日(水)は「防災の日」でした。これを機会にして防災について関心を持ち、様々な場面を想定しながら災害時の行動について考えるよう各担任から話をしました。その中で重要な役割を果たすのが、「ハザードマップ」です。学校から市へお願いをして、ハザードマップがない家庭にも届けました。災害が起こるのは、子供が学校にいるときだけとは限りません。子供たちには普段から、「自分の生命を守るのは自分」と指導をしています。また、「他人の命を守るのも自分」と伝えています。大きな災害時は、地域での助け合いが重要です。隣近所を含めて地域との繋がりを大切にし、ハザードマップを参考にしながら、災害時の家族の行動についても確認をしておいてください。

本校では、今年度文部科学省の研究指定「学校安全総合支援事業」を受けて防災教育に取り組んでいます。学校・家庭・地域が連携して安全体制を構築し、子供たちの安全に関する資質・能力を育てていきたいと考えています。主な取組として、各教科の中に防災関連の学習を位置付けて計画的に取り組むことと家庭・地域と連携した防災訓練を行うことを予定しています。10月15日(金)の引き渡し訓練へのご理解とご協力をお願いします。



持ち帰る教科書類の軽減について

これまで家庭で使用する頻度の少ない教科書類(書写・地図帳等)については持ち帰りをさせず、ランドセルの中身を減らすことで子供たちの登下校の負担を軽くするよう考えて来ました。しかし、熱中症対策として水筒を持ってきたり、タブレットの持ち帰りをしたりすることを考え、基本的には国語科、算数科以外の教科書類は、学校に置いて帰るよう指導をしています。家庭で学習をさせるなど特別な事情がある場合は、個別に持って帰ってもかまいませんが、早めに持参させるようお願いいたします。

登校時の車の送迎について

9月16日(木)の登校時、妙宣寺下の福重小学校入口バス停前で、1年生児童が車に接触するという事故が起きてしまいました。幸い命に別状はありませんでしたが、重大な事故として捉えています。

子供たちには、自分の足で歩いて登校することと飛び出しは絶対にしないことを指導しました。

雨天時も含め車での送迎をお控えくださるよう保護者の皆様にも改めてお願いいたします。なお、特別な事情がある場合は、個別に学校へご相談ください。

福重小150周年 その2

今回は第2回目「初期の福重小学校」についてです。

福重小学校は、下等(4年間)、上等(4年間)とも、年度ごとに口頭試問が行われ、合格したらその度に卒業証書が授与されていました。その等級は、半年間(5月と11月)で一つ上級したそうです。記録に残っている卒業証書の番号によると、1873年(明治6年)から30年間で314人(1年間で10人位)が、卒業しています。

詳しいことを知りたい方は、上野さんのHP「福重ホームページ(下記アドレス)」をご覧ください。
<http://fukushige.innfo/index.html>